



小田小だより

平成31年3月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校

つながりに感謝

校長 村上 裕江

早いもので、4月の学校だよりで小田小学校着任の挨拶をさせていただいてから、11か月たちました。まだ1年たっていないのですが、ずっと小田小学校にいらしていただいているような気がいたします。これも小田小学校の児童の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様のあたたかいお力添えのおかげです。2月末に行われた学校家庭地域連携事業の実行委員会や小田小学校学校運営協議会の折にも、この地域の方々が小田小学校の子どもたちを地域ぐるみで育もうとなさっておられるお気持ちがひしひしと伝わってきて、感激いたしました。

小田小学校の学区では、このようなあたたかさに恵まれている一方で、昨今の子どもをめぐる悲しいニュースを聞くとき、よく一緒に「孤立している〇〇」という言葉を耳にします。昭和から平成へと変化していく時間の中で、それまで多くの人々にとって負担になっていた様々な「古くからのつながり」を軽くしていく方向に、世の中は動いていったように感じます。その動きによって変わってきた、「新しいつながり」は、人々を幸せの方向に導いた部分と、「古くからのつながり」を軽くした後で、その大切さに気が付いた部分もあるように思います。平成の次の時代には、幸せにつながる関わり合いが増えることを願うばかりです。

2月の朝会で、私が小学生の時に、初めてプールの水の中で目を開けてもぐることができた体験を話しました。もぐることがとても怖くて躊躇していた私を、一緒に練習していた友達が、「一緒に潜ろう。」と後押ししてくれて、できるようになったのです。その後、すぐに泳ぐこともできるようになって、とてもうれしい夏になりました。私はその時、友達と一緒にいろいろなことに挑戦できることが、学校の素敵なおところだと感じたのです。友達との「つながり」を実感できた貴重な体験です。小田小学校の子どもたちも、いろいろな機会に似たような体験をしていることでしょう。子どもたちがそれぞれに感じた「つながり」の体験を、次へのステップアップにつなげられるようにと、教職員も日々、努めているところです。

今年、小田小学校で最もありがたいと感じたのは、この「つながり」の素晴らしさです。たてわり活動で、1年生から6年生までが自然とつながっていき、さらに運動会や小中合同学校保健委員会などで小田中学校の生徒さんともつながって、小学生と一緒に活動している光景。2月16日の音楽会で見せてくれた、学年が一つにつながって生まれるハーモニー。登校時の見守りや門でのあいさつ、行事や必要な学習の時に入ってくださるPTAや学援隊、KCSの皆様方とのつながり。小田小学校学区から生まれたこの「つながり」を、これからも大切に大切にしていきたいと思います。この1年、ありがとうございました。